

ちよつといひ話

～ 抱 負 ～

平成16年1月2日住職の劈頭（へきとう）が発表されました。「天の聲：お陰様…地の音：有難う」です。今年は基本に戻って襟を正し、各家がそれぞれの御先祖を敬い、朝にはお陰様で目が覚めました、今日も宜しく願います。と挨拶が出来、夕べには今日も一日有難う御座いました。と報告する事が出来れば、まず第一歩は合格でしょう。

私達の住む太陽系は佛国の一つにすぎません。お経に佛国は三千大千世界あると書いてあります。大千世界には大、中、小、とあり、それぞれに約千の世界があり、その三千倍が佛国となり、約10億の世界を統括しているのです。

私達はアニミズムの中で一生を送ります。密教の描く胎蔵界曼陀羅をみれば大日如来様を中心に母親の胎内に眠る胎児の佛性が開花展開していく様子が判ります。そして人間として死する時は浄土曼陀羅を見れば阿弥陀様を中心に生前の所行によって九段階に振り分けられる様子が判ります。我々の一生は東の大日如来に、ご縁を戴いて生まれ、西の阿弥陀如来に、ご縁を戴いて沈む事になります。東から西に一筋の道が敷かれ、早く渡る人もあれば、ゆっくり渡る人もあれば、途中で魔界に落ちる人もあり、人生様々悲喜交々です。いつ何時、無情の風が吹きこもうともびくともせず、よくお向かえに来て下さいました、宜しく願います。と言いたいものです。日頃より日、一日を大切に、「お陰様、有り難う」を忘れずに、必ず身心を快樂（けらく）にしてから寝ましょう。

私達は仏の声も聞こえず、姿も見えない凡夫ですが仏様のお陰を戴く事によって、ちよつとの事で助かった奇跡を味わった方もお見えでしょう。大難は小難、小難は無難にとお守りが頂けるものです。広大無辺のお加護を願うも、私利私欲ではいけません。経に曰く自他法界同利益、共生極楽成仏道。とあります。これは皆さんと一緒に徳積みをしなごら極楽へ来て下さい。これが私（仏様）の願いですと説明されたのです。

肅々と実践しましょう。

善入院油掛地藏尊